

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区跡地に係る防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備について

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区（以下「日鉄呉地区」といいます。）跡地については、令和6年3月4日に防衛省から、今後、呉地区に「多機能な複合防衛拠点」を整備したいとの説明があり、このことについて、日本製鉄株式会社（以下「日鉄」といいます。）、防衛省、広島県及び呉市の4者による協議（以下「4者協議」といいます。）を行いたいとの申入れがありました。

同年7月3日には、防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備に係るゾーニング案の検討に当たり、呉市長と呉市議会議長が防衛省を訪問し、市民の安全・安心の確保や呉市の経済発展等への貢献など、7項目からなる要望書を提出しました。

その後、ゾーニングについては、同年9月6日の議会協議会においてゾーニング案の中間報告を、また、令和7年3月31日の議会協議会においては、ゾーニング最終案の説明を防衛省から受けたところです。

防衛省から本市にゾーニング最終案が示されたことから、同年4月24日には、日鉄呉地区跡地のある警固屋・宮原地区の住民及び呉市民を対象とした住民説明会を開催し、市民の皆様へ防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備について説明し、御意見を伺ったところです。

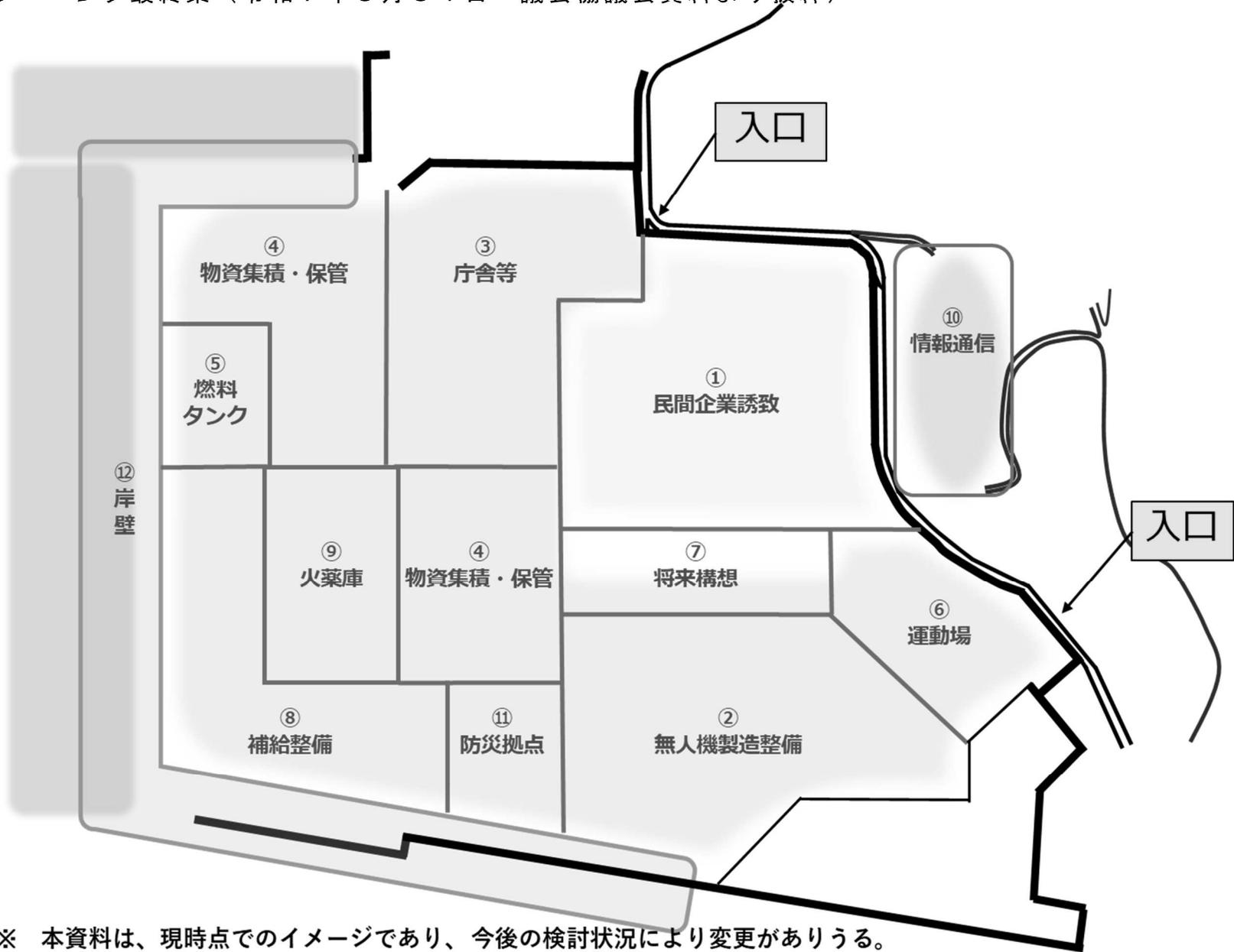
このたび、これまでの進捗状況について、改めて御報告します。

1 日鉄呉地区跡地に係る防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備等の主な取組経過

時期	主な経過
令和6年 2月 7日	○広島県と呉市で実施する「日鉄呉地区跡地利活用に係る検討業務」の予算を含む令和6年度呉市当初予算案を発表
2月 8日	○「日鉄呉地区跡地利活用に係る検討業務」の予算を含む令和6年度広島県当初予算案を発表
3月 1日	○「日鉄呉地区跡地利活用に係る検討業務」の公募型プロポーザルを公告
3月 4日	<p>○防衛省から広島県及び呉市に対し、次のとおり、今後「多機能な複合防衛拠点」を新たに日鉄呉地区跡地に整備したい旨を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛力の抜本的強化のためには、装備品の維持整備・製造，訓練，補給等を一体的に機能させ，部隊運用の持続性を高める必要がある。 ・これを受け，今後，「多機能な複合防衛拠点」を呉地区において新たに整備したい。 ・具体的には，次の三つの機能を整備する考えである。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 装備品などの維持整備・製造基盤（民間の誘致を含む） (2) 防災拠点（ヘリポートや物資の集積場など）及び部隊の活動基盤（艦艇の配備，訓練場など） (3) 岸壁などを活用した港湾機能 ・このため，現在，日鉄との間で，日鉄呉地区跡地の早期の一括購入に向けた交渉を進めている。 <p>○このことについて，防衛省から，4者協議をしたいとの申入れ</p>
3月11日	○防衛省から呉市議会（議会協議会）に対し，日鉄呉地区跡地に係る「多機能な複合防衛拠点」の整備について説明
3月27日	○「日鉄呉地区跡地利活用に係る検討業務」の委託事業者選定委員会を開催し，「デロイトトーマツコンサルティング合同会社」に決定（4月15日業務委託契約締結）
3月28日	<p>○4者協議（第1回）開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛省による説明及び意見交換
4月26日	○呉市議会産業建設委員会で「日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区跡地の利活用に関する取組経過等について（報告）」を行政報告
6月28日	○呉市議会協議会で「防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備検討に当たっての呉市からの要望骨子について」を報告

7月 3日	<p>○呉市長及び呉市議会議長が防衛省を訪問し、「防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備検討に当たっての要望」を記載した防衛大臣宛の要望書を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望項目 <ul style="list-style-type: none"> (1) 産業機能 (2) 安全と環境への配慮 (3) 防災機能 (4) 自衛隊員等の増加 (5) 市民利用 (6) 研究機関の設置 (7) 海上自衛隊呉教育隊の移転
9月 6日	<p>○4者協議（第2回）開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛省による説明及び意見交換 <p>○防衛省から呉市議会（議会協議会）に対し、次のことについて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機能な複合防衛拠点の整備に係るゾーニング案の中間報告 ・多機能な複合防衛拠点のゾーニングの完成後に必要となる、施設配置等の基本検討に必要な経費や地形等の測定の経費として、約5億円を令和7年度概算要求に計上
令和7年 2月12日	<p>○呉市議会産業建設委員会で「日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区跡地利活用に係る検討業務の結果について（報告）」を行政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討結果等について報告 <ul style="list-style-type: none"> 候補①エネルギー産業拠点 候補②デジタル産業拠点 候補③造船産業拠点
3月31日	<p>○4者協議（第3回）開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛省による説明及び意見交換 <p>○防衛省から呉市議会（議会協議会）に対し、次のことについて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機能な複合防衛拠点の整備に係るゾーニング最終案（※P4「参考：ゾーニング最終案」参照） ・呉市が提出した7項目からなる要望書に対する防衛省からの回答
4月24日	<p>○「防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備に係る住民説明会（呉市主催）」を開催</p> <p>※概要についてはP6の「2」に記載</p>

参考：ゾーニング最終案（令和7年3月31日 議会協議会資料より抜粋）



※ 本資料は、現時点でのイメージであり、今後の検討状況により変更がありうる。

1. 装備品などの維持整備・製造基盤（民間の誘致を含む）

①民間企業誘致	防衛生産・技術基盤を担う企業を誘致 防衛装備庁研究関連施設を整備 （誘致企業など民間での活用を視野、スタートアップを含めた先進的な研究の実施を検討）
②無人機製造整備	無人機の製造・整備施設

2. 防災拠点（ヘリポートや物資の集積場など）及び部隊の活動基盤（艦艇の配備、訓練場など）

③庁舎等	隊員の勤務する庁舎、営内者の隊舎、厚生施設、グラウンド
④物資集積・保管	岸壁を使用した荷下ろし、艦船用部品などの保管
⑤燃料タンク	艦船等に使用する燃料のタンク
⑥運動場	屋外運動施設、体育館
⑦将来構想	将来活用を検討するエリア
⑧補給整備	艦船に搭載する装備品の維持・整備施設
⑨火薬庫	地上覆土式火薬庫、火薬庫の周囲には土堤を設置し、更にフェンスで囲う 保安距離は敷地内に収まる
⑩情報通信	衛星通信を含む先端的な情報通信施設及び関連部署の庁舎
⑪防災拠点	災害救援物資の保管、物資集積場、ヘリポート

3. 岸壁などを活用した港湾機能

⑫岸壁	将来的な利用拡大も視野に入れた、大型の艦船も接岸可能な岸壁
-----	-------------------------------

※ 本資料は、現時点でのイメージであり、今後の検討状況により変更がありうる。

2 住民説明会の概要

令和7年3月31日に、防衛省からゾーニング最終案が示されたことから、呉市主催で多機能な複合防衛拠点の整備に係る住民説明会を開催し、防衛省担当者による説明及び住民からの質疑・応答を行いました。

- (1) 日時 令和7年4月24日（木） 午後7時～午後8時40分
- (2) 会場 警固屋まちづくりセンター 2階ホール
- (3) 対象 警固屋・宮原地区の住民及び呉市民
- (4) 参加者 205人（内訳：警固屋・宮原地区の住民 115人、前記以外の地区の呉市民 90人）
- (5) 参加者の主な意見

警固屋・宮原地区の住民	<ul style="list-style-type: none">・この話が進むことにより、地域の活性化、経済的な波及効果により、市の発展につながると思う。・ソフトボール場、運動場、体育館などの地域住民が利用できる施設及び防災拠点の整備を優先してほしい。・このゾーニングを見て、大喜びである。ここは自衛隊員がいないと潰れるまちである。定年退職した自衛隊員が、まちのために貢献してくれている。・日新の撤退以降、渋滞がなくなった。今後、この拠点が整備されると、また大渋滞が発生してはいけないので、交通渋滞は考慮してもらいたい。・火薬庫の整備について、地区の住民はすごく心配している。事故が起きた際の連絡体制を整えてほしい。・敷地内に官舎が建つと、その中での活動になる。敷地外の活動がないと、活気がなくなるので、できれば、借り上げ社宅等があればいい。
-------------	--

前記以外の地区の呉市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ これだけの規模のものができるとなると、交通やいろいろなことで関連性がある。防衛省だけの予算ではなく、経済産業省など他のところの予算も含め、周辺道路の開発や無人機の開発誘致など、他の事業も巻き込んだ複合的な大きなものを整備する計画はないのか。 ・ 現在、解体工事が進んでいるが、この解体を待っているのは、7～8年という期間が掛かる。解体が進んだところから少しずつ整備を始めて、少しでも早く複合防衛拠点ができればいい。 ・ 火薬庫について、何に使うためにここに必要なのか。火薬庫と聞くと怖いと感じる。できれば作ってほしくない。
-------------	---

(6) 市としての受止め

防衛省による多機能な複合防衛拠点が整備されることを心配する意見もありましたが、日鉄呉地区跡地に隣接する地域の住民を中心に、おおむね、賛成する意見が多数であったと認識しています。

3 今後の対応